

ジスバル[®]カプセル適正使用ガイド -別冊- 主な薬物相互作用一覧

監修：杏林大学医学部 精神神経科学教室 教授 渡邊 衡一郎 先生



VMAT2阻害剤 ー遅発性ジスキネジア治療剤ー 薬価基準収載
バルベナジントシル酸塩カプセル

ジスバル[®]カプセル40mg
DYSVAL[®] Capsules

劇薬 処方箋医薬品 (注意ー医師等の処方箋により使用すること)

2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)

- 2.1 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- 2.2 先天性QT延長症候群又はTorsades de pointesの既往のある患者[QT間隔の過度な延長、心室頻拍(Torsades de pointesを含む)を起こすおそれがある。]

中程度以上のCYP3A阻害剤一覧

The Drug Interaction Database*のデータ(2023年4月現在)を基に日本で承認され、薬価基準収載品目リスト(2023年4月現在)に記載されている薬剤(外用剤のみの薬剤は除く)について以下にまとめました。(左欄：薬効分類、右欄：成分名)

※：ワシントン大学が構築している薬物相互作用データベース

強い阻害剤*1	
抗ウイルス剤	コビシスタット(配合剤を含む)
	エルビテグラビル/リトナビル*3
	エンシトレルビル
	ニルマトレルビル/リトナビル
	ロピナビル/リトナビル
	リトナビル
主としてカビに作用するもの	ポサコナゾール
	ボリコナゾール
主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	クラリスロマイシン
	ジョサマイシン
その他の化学療法剤	イトラコナゾール
その他の腫瘍用薬	セリチニブ
中程度の阻害剤*2	
自律神経剤	トフィンソパム
抗パーキンソン剤	イストラデフィリン
血管拡張剤	ジルチアゼム
血管拡張剤/不整脈用剤	ベラパミル
抗ウイルス剤	アタザナビル
	アンプレナビル*4
	ダルナビル
	レテルモビル
合成抗菌剤	シプロフロキサシン
主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	エリスロマイシン
消化性潰瘍用薬	シメチジン
その他のアレルギー用薬	ベロトラルスタット
その他の抗ハンセン病剤	クロファジミン
その他の消化器用薬	アプレピタント
	ホスネツピタント
その他の化学療法剤	フルコナゾール
	ラブコナゾール*5
その他の腫瘍用薬	イマチニブ
	クリゾチニブ
	ニロチニブ

本一覧表は全ての阻害剤を網羅しているものではありません。一覧表に記載がない薬剤であっても、複数の薬剤を本剤と併用する際には当該併用薬剤のCYP2D6阻害作用やCYP3A阻害作用を確認し、QT間隔延長等の副作用の発現に注意してください。QT間隔延長については「ジスバル[®]カプセル適正使用ガイド」の「重要な潜在的リスク 2.QT間隔延長」をご参照ください。

*1：強い阻害剤：相互作用を受けやすい基質のAUCが5倍以上に上昇(クリアランスが1/5以下に減少)

*2：中程度の阻害剤：相互作用を受けやすい基質のAUCが2倍以上5倍未満に上昇(クリアランスが1/5超から1/2以下に減少)

*3：エルビテグラビルとリトナビルの両剤を含む薬剤は薬価基準収載品目リスト(2023年4月現在)に記載されていない。エルビテグラビルあるいはリトナビルを含む薬剤が記載されているため、その薬効分類である「抗ウイルス剤」として一覧に記載した。

*4：アンプレナビルは薬価基準収載品目リスト(2023年4月現在)に記載されていないが、そのプロドラッグであるホスアンプレナビルが記載されているため、その薬効分類である「抗ウイルス剤」として一覧に記載した。

*5：ラブコナゾールは薬価基準収載品目リスト(2023年4月現在)に記載されていないが、そのプロドラッグであるホスラブコナゾールが記載されているため、その薬効分類である「その他の化学療法剤」として一覧に記載した。

CYP2D6阻害剤一覧

The Drug Interaction Database*のデータ(2023年4月現在)を基に日本で承認され、薬価基準収載品目リスト(2023年4月現在)に記載されている薬剤(外用剤のみの薬剤は除く)について以下にまとめました。(左欄：薬効分類、右欄：成分名)

※：ワシントン大学が構築している薬物相互作用データベース

強い阻害剤*1	
精神神経用剤	パロキセチン
その他の腫瘍用薬	ダコミチニブ
不整脈用剤	キニジン
中程度の阻害剤*2	
精神神経用剤/その他の中枢神経系用薬	デュロキセチン
精神神経用剤	エスタロプラム
その他のアレルギー用薬	ベロラルスタット
その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	ミラベグロン
その他の化学療法剤	テルビナフィン
その他の腫瘍用薬	アビラテロン
他に分類されない代謝性医薬品	シナカルセット エリグルスタット

弱い阻害剤*3			
抗てんかん剤	クロバザム		
精神神経用剤	クロルプロマジン		
	フルボキサミン		
	セルトラリン		
	ベンラファキシン アセナピン		
血管拡張剤	ジルチアゼム		
血管拡張剤/不整脈用剤	ベラパミル		
解熱鎮痛消炎剤	セレコキシブ トラマドール		
	血圧降下剤	ヒドララジン フェロジピン ニカルジピン ラベタロール	
抗ウイルス剤		リトナビル(配合剤を含む) コビシスタット(配合剤を含む) ロピナビル/リトナビル	
		抗ヒスタミン剤	ジフェンヒドラミン
		消化性潰瘍用剤	シメチジン
その他のアレルギー用薬	デュピルマブ		
その他のホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	オシドロスタット		
その他の血液・体液用薬	サルポグレラート チクロピジン		
	その他の腫瘍用薬	エタノール ゲフィチニブ イマチニブ パノビノスタット ベムラフェニブ	
他に分類されない代謝性医薬品		ヒドロキシクロロキン	
痛風治療剤		フェブキソスタット	
糖尿病用剤		アログリプチン(配合剤を含む)	
不整脈用剤		アミオダロン フレカイニド プロパフェノン	

本一覧表は全ての阻害剤を網羅しているものではありません。一覧表に記載がない薬剤であっても、複数の薬剤を本剤と併用する際には当該併用薬剤のCYP2D6阻害作用やCYP3A阻害作用を確認し、QT間隔延長等の副作用の発現に注意してください。QT間隔延長については「ジスバル® カプセル適正使用ガイド」の「重要な潜在的リスク 2.QT間隔延長」をご参照ください。

*1：強い阻害剤：相互作用を受けやすい基質のAUCが5倍以上に上昇(クリアランスが1/5以下に減少)

*2：中程度の阻害剤：相互作用を受けやすい基質のAUCが2倍以上5倍未満に上昇(クリアランスが1/5超から1/2以下に減少)

*3：弱い阻害剤：相互作用を受けやすい基質のAUCが1.25倍以上2倍未満に上昇(クリアランスが1/2超から1/1.25以下に減少)

中程度以上のCYP3A誘導剤一覧

The Drug Interaction Database*のデータ(2023年4月現在)を基に日本で承認され、薬価基準収載品目リスト(2023年4月現在)に記載されている薬剤(外用剤のみの薬剤は除く)について以下にまとめました。

(左欄：薬効分類、右欄：成分名)

※：ワシントン大学が構築している薬物相互作用データベース

強い誘導剤*1	
抗てんかん剤/精神神経用剤	カルバマゼピン
抗てんかん剤	フェニトイン(配合剤含む)
主として抗酸菌に作用するもの	リファンピシン
その他のホルモン剤(ホルモン剤を含む)	ミトタン
その他の腫瘍用薬	アパルタミド
	エンザルタミド
中程度の誘導剤*2	
催眠鎮静剤、抗不安剤/抗てんかん剤/自律神経剤/鎮咳剤	フェノバルビタール(配合剤含む)
精神神経用剤	モダフィニル
主として抗酸菌に作用するもの	リファブチン
抗ウイルス剤	エファビレンツ
	エトラビルン
	ロピナビル/リトナビル
その他の腫瘍用薬	ダブラフェニブ
	ロルラチニブ
	ソトラシブ
その他の循環器官用薬	ボセンタン

本一覧表は全ての誘導剤を網羅しているものではありません。

*1：強い誘導剤：相互作用を受けやすい基質のAUCを1/5以下に減少(クリアランスが5倍以上上昇)

*2：中程度の誘導剤：相互作用を受けやすい基質のAUCを1/5超から1/2以下に減少(クリアランスが2倍以上5倍未満に上昇)

P-gpの基質薬剤一覧

医薬品開発と適正な情報提供のための薬物相互作用ガイドライン(薬生薬審発0723第6号：平成30年7月23日)に*in vivo*典型基質の代表例として記載されているP-gpの基質薬剤について以下にまとめました。

(左欄：薬効分類、右欄：成分名)

P-gpの基質薬剤	
強心剤	ジゴキシン
その他のアレルギー用薬	フェキソフェナジン(配合剤を含む)
血圧降下剤	アリスキレン
その他の循環器用薬	アンブリセンタン
痛風治療剤	コルヒチン
血液凝固阻止剤	ダビガトランエテキシラート
抗ウイルス剤	マラビロク
糖尿病用剤	サキサグリプチン
利尿剤/その他のホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	トルバプタン
他に分類されない代謝性医薬品/その他の腫瘍用薬	エベロリムス
その他の腫瘍用薬	ラパチニブ
	ニロチニブ
	シロリムス
抗腫瘍性植物成分製剤	ノギテカン

本一覧表は全ての基質を網羅しているものではありません。

<文献請求先及びお問い合わせ先>

田辺三菱製薬株式会社 くすり相談センター

〒541-8505 大阪市中央区道修町3-2-10
電話(フリーダイヤル):0120-753-280
受付時間:9:00~17:30(土・日・祝日・会社休日を除く)

ヤンセンファーマ株式会社

メディカルインフォメーションセンター

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-5-2
フリーダイヤル 0120-183-275 FAX 0120-275-831
(土・日・祝日および会社休日を除く)
医薬品情報サイト <https://www.janssenpro.jp>

製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)
田辺三菱製薬株式会社
大阪市中央区道修町3-2-10
製品情報に関するお問い合わせ
TEL:0120-753-280(くすり相談センター)
販売情報提供活動に関するご意見
TEL:0120-268-571

販売元(文献請求先・製品情報お問い合わせ先)
ヤンセンファーマ株式会社
〒101-0065 東京都千代田区西神田3-5-2
<https://www.janssen.com/japan/>
<https://www.janssenpro.jp> (医薬品情報)

プロモーション提携
吉富薬品株式会社
大阪市中央区道修町3-2-10